

# うに郷通信

No.122  
令和元年(2019)8月

発行： 宇仁郷まちづくり協議会 (編集：情報部会)

## 子育て支援センターより

### ① 学童保育

7月6日(土)の小学校の参観日、午後2時半より学童保育を行いました。参観授業が終わって29人の子どもたちが旧幼稚園舎に並んで帰ってきました。7脚の平机に所せましと座り宿題を始める子、今日は作文だけだから帰ってからすると言って外へ出て遊ぶ子、とそれぞれに1時間半を有意義に使っていました。

1年生の算数ドリルを一生懸命にしている姿が、それは可愛く微笑ましく、つい笑みがこぼれてしまいました。宿題が済むと、こま回しをする子、友達の髪を器用に結んでいる子、童心に帰り砂場で遊ぶ高学年の子と、学年を超えて仲良く遊んでいる姿を見て「あーやっぱり宇仁っ子たちだなー」とスタッフ達とうなずき合いました。お父さんお母さんのお迎えで帰っていく親子の後ろ姿を嬉しく見送りました。

★8月18日AM6:30より学童保育をしている旧幼稚園舎において園庭の清掃作業を行います。協力してくださる方を募集しています。雨天の場合は25日です。



### ② 旧幼稚園園庭の整備作業

6月12日(水)、心配されていましたが雨も降らず、早朝より13人ものボランティアの皆さんで、小学校から聞こえてくる元気な子ども達の歌声を聞きながら旧宇仁幼稚園園庭の花植え並びに草刈り作業をしました。



(子育て支援センター)

## ほっとトークより



6月18日(火)ふれあい館で、ほっとトークの場をお借りして「木で作るおもちゃのカメラワークショップ」を開催しました。宇仁と日吉のお母さん方に参加していただき、子どもと一緒に楽しくお話をしながらのワークショップになりました。

色を塗ったり、パーツを鋸で切ったり… 普段家ではできない体験をしてもらい、それぞれ素敵なカメラが出来上がりました。不定期ではありますが、こうした木工のワークショップを開催していきたいと思いますので、また是非ご参加くださいね。

(講師 山本草子)



## 大歳神社のイボ取り水

田谷町の大歳神社の井戸から湧き出る清水が「イボ」に非常によくきくのです。神社の右手奥の川ぞいにあるこの小さな井戸は、今まで、どんなに日照りが続いていても涸れたことはありません。この神社の宮水として大切な水なのです。

不思議なことに、この水をいただいてつかけると、どんながん固なイボもたちどころになおってしまうのです。イボで困っている人が、このお宮にお参りして願をかけ、井戸水をもらって帰ってイボにつかけると、短期間にもうそのように消えてしまいます。

昔からどんなにか多くの人たちが、この神水のおかげを受けたか知れません。その証拠に、このお宮にはお札に上げられた「タコの絵馬」がぎっしりとかかげられております。

(「加西のふるさと散歩 昔語りと文化財をたずねて」より原文のまま転載)

## 宇仁郷歴史資料館だより ④-17 近・現在の宇仁郷

宇仁郷通信 121 号の記事で④-15 となっていたのですが、④-16 の間違いでしたので訂正しお詫びします。

### (20) 平成の宇仁小学校建設 - 1

平成の時代に入り、藤岡市長が八王子神社に参拝された時、表参道を閉鎖して建てられている校舎の傷みを見られ、新用地への移転に言及されました。

その後、早期の土地買収と校舎改築移転を加西市へ要望し、平成 8 年(1996)と平成 10 年(1998)に加西市への陳情と議会請願を行い、田谷町の地権者の理解と協力により用地が確保されました。造成の清算処理で地区 6 町が応分の負担をするなどして平成 15 年(2003)造成が完成しました。しかし、依然として改築の先行きは財政事情の理由から不透明なまま時が過ぎていきました。

一方、平成 10 年(1998)宇仁小学校新築期成同盟(小川賢会長)が組織され地域を挙げて改築の促進に取り組む体制を整え、柏原市政の平成 16 年(2004)に市への陳情、加西市区長会の場でも改築を訴えましたが、議会請願の総務委員会の審議において、①財源の確保が困難 ②地域の活性化 ③財政再建計画の重視の 3 点の条件が付き、宇仁小改築は事実上の否決となり、宇仁小改築は遠退いていきました。



取り壊し前の旧校舎内部

開館日 毎日曜日 9 時 30 分 ~ 12 時

### 編集後記・雑感

「ハチドリの一としずく」という物語をご存じですか。これは南米アンデス地方に昔から伝えられてきた民話ですが、それはこんなお話です。

『森が燃えていました。森の生き物たちはわれさきにと逃げていきました。でもクリキンディという名のハチドリだけは行ったり来たり。口ばしで水のしずくを一滴ずつ運んでは火の上に落としていきます。動物たちはそれを見て「そんなことをしていったい何になるんだ」と笑います。クリキンディはこう答えました。「私は、私にできることをしているだけ』』

先日、須磨寺副住職小池陽人さんの講演を聞く機会がありました。人は一人では何もできません、意識してないうちに人に施しをし、人から施しを受けている、人との出会いが人生を豊かにする、笑顔を保つことも施しの一つである、などの話をききました。そしてこれだけは覚えて帰って欲しいということで、ありとあらゆる善を 6 つにまとめたお釈迦様の教え(六波羅蜜)の檀(施し・親切)・戒(約束)・忍(忍耐)・進(精進・努力)・禪(反省)・恵(知恵・修養)を話され、笑顔を保てば檀・戒・忍・進の 4 つをすすでに実行していることになるなど、副住職の話術にまるみ込まれたようなお話でした。

ともあれ、まちづくり協議会の一員として、大きなことはできませんが、ハチドリのように今自分にできることを、コツコツとやっていければと思っています。

